

## 活かす通信

2024年4月 (201号)

<http://npo-icas.com/>

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

巻頭言 イカス専務理事 (株式評論家) 望月純夫

### ゴジラが米アカデミー賞を受賞した意味：

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

ゴジラが米アカデミー賞を受賞した意味：

今月はいつものライター篠田憲明氏の事情により、ムッシュ望月が代行します。今年度の米アカデミー賞で、日本映画の「ゴジラ-1.0 (マイナスワン)」が視覚効果賞を受賞し、宮崎駿監督の「君たちはどう生きるか」が長編アニメ賞を受賞した。「ゴジラ-1.0」は山崎貴監督が経営する「白組」が手掛け、低予算作品として注目され、VFXにより70周年記念として世界的に注目されるものとなった。「君たちはどう生きるか」は21年ぶりの受賞となった。「千と千尋の神隠し」以来で、宮崎駿監督としては、2度目の受賞である。個人的には「ゴジラ」についての思いは強い。ゴジラは、ゴリラとクジラの造語であり、この最初の作品は1954年11月に封切られた。この年の3月1日に世界を驚愕させるアメリカによる水素爆弾の実験がビキニ諸島でなされ、当初想定されていた危険地域外でマグロのはえ縄漁業をしていた第五福竜丸の漁船員に帰国後異変が起きた。漁船員が急性放射線病と診断され、半年後には死に至り、他の乗務員も犠牲となった。この作品を制作した本多監督は、原発に対するメッセージが込められたと思われる。単なる恐竜アクションとして見るのではなく、本来の監督の意志・メッセージをつないでいきたいものである。映画、漫画、アニメなどのソフトビジネスでは、商業的に成功することが大前提だ。いくら哲学的なことを垂れても、誰も見ないのでは全く意味がない。今回2作品がアカデミー賞を受賞したことを考えると、日本のソフトビジネスが世界に広がったのが納得出来る。以前「モノづくりからソフトへの移行」がキャッチフレーズであった。ようやく実現したことになる。これを実現したのは政府の支援によるものではなく、民間の努力によるものである。たまたま2作品のアカデミー賞受賞前に、世界的な人気作品を生み出した漫画家・鳥山明さんの訃報が流れた。「ドラゴンボール」は世界的な人気作品だったことから、世界中のメディアが報道した。ソニーや任天堂も世界を相手に活躍している。政府はもっと世界で活躍する人を評価できるようにな



の買い物を、長期の視点で考えよう」(THE RAKE 2020年1月号)

私にはインドの株式投信が30年着られるスーツに見えます。インドは長期の経済成長を支える人口、テクノロジー、民主主義という生地がしっかりしています。この生地の特徴を生かし、普通に運用するオーソドックスな株式投資信託は、きっと皆さんの新NISAの洋服ダンスの中の30年のときめきになるはずです。

~~~~~ お知らせ ~~~~~

好評発売中。インド株投資の前には一読ください。





## ムッシュ望月の今月の相場展望と映画紹介

映画は世につれ、世は映画につれ、世相を反映するのが相場



### 相場展望：4万円相場の先は？

昨年1月から始まった日経平均の上昇は続き、遂に3月4日には引値ベースで4万円の壁を超えた。背景には日本経済の企業の構造的な変化がある。円安の影響も大きい。台湾大手半導体企業 TSMC の熊本に工場を建設（2021年10月）するところから始まったといえる。これは令和の黒船と言ってもおかしくはない。日本ではデフレが蔓延し、大卒の初任給が22万～23万円に固定されてきた。当時の熊本県の平均大卒初任給19万4443円で、2023年春入社が28万円と発表された時の驚きは忘れられないものがあった。これで閉塞感が完全に破られた。昨年、今年もこの流れに乗るような形での連続賃金引き上げに大手企業を中心に踏み切った。これを受けて日銀もマイナス金利の解除を決断した。人手不足も恒常化し、サービス価格の上昇している。また、社外取締役の定着など企業統治の改善も寄与して、事業構成を見直す企業も増えている。内部留保を効果的に使う動きも見られるようになってきた。企業間格差はあるものの、収益構造は強化されている。ここにデフレから脱出がハッキリと見えて来た。経済の先行性のある株式市場には大きな変化が生まれた。その象徴が PER で、デフレの時代の PER は14倍から16倍であった。インフレの時代に入ると、PER16倍から18倍に変わることになる。16倍台は決して割高ではない、デフレの時代の産物に過ぎない。3月18日の引値39,740円に対する PER は16.79倍、一株当たり利益 (EPS) は2366円となっている。過去の物差しでは割高と言える。この物差しを少し変えて、PER18倍まで買えば、42500円が適正な目標値となる。特に割高感はなくなり、海外の平均的な水準に戻ることになる。需給関係も良好で、低迷する中国から流出した資金が米印日に流れ込んできている。更には、2024年1月から始まった新NISAにより、毎月恒常的に株式市場に資金が流入することになった。恐ろしいほどの需給改善といえる。3月中旬までの年金のリバランスによる大量の売りも下落幅2000円で収まった。昨年度は事業法人による自社株買いが上昇相場に貢献した。今年は、個人、法人、外国人の3つの買い手が揃う稀有の状態にある。この需給関係の良さに、円安や企業の上方修正、米国市場の好調さが市場を支えている。日本の金利引き上げのスピード、米の金利引き下げのスピードは緩慢なもので、急激な円高に進む流れはいまのところ小さい。この円安効果や、中国を除く海外からの旅行客の増加により、ホテル代等の値上げや外食産業の値上げも通り易くなっている。4月以降の賃上げ効果で個人消費が回復してくるかも焦点となる。あと円安の中で回復が鈍い海外へ旅行する日本人客が、今年のゴールデンウィークでどこまで伸ばせるか回復できるかも焦点と言える。

過去 2 年間、消費信用の残高が増加し、滞納率が増えているマイナス要因もみられるが、緩やかながらも続く景気回復の中ではコップの嵐となろう。さて最後に相場の格言を紹介しよう。「sell in may, come back in September」「休むも相場」、この時期には前期の決算と今期の決算見通しが発表され、よほどの自信がある企業でない限り、強気の見通しが出しにくい時期に当たるのも原因の一つといえる。

(純記)

今月の映画：

今年は例年以上に忙しい日が続いている。月 10 本見るのも時間を作るのもたいへんです。2 月は何とか頑張って 10 本見ました。「罪と悪」「ある閉ざされた雪の山荘で」「カラオケに行こう」「ジャンヌ・デ・バリー」「身代わり忠臣蔵」「カラーパープル」「夜明けのすべて」「瞳を閉じて」「落下の解剖学」「コヴェナント」の 10 作品です。「落下の解剖学」は、第 96 回アカデミー賞の脚本賞を受賞した。作品賞や監督部門等の 5 部門にノミネートされ、最終的には脚本賞を受賞した。第 76 回カンヌ国際映画祭ではパルム・ドール賞を上昇している。雪山の山荘で、男が転落死したところから映画は始まる。これは、事故、自殺、殺人か、二転三転していく。唯一の証人は死視覚障害のある 11 歳の息子、この息子の証言により、男の妻（ベストセラー作家）に殺人容疑がかかる。被疑者として証人台に立った女性の秘密や嘘、夫婦の秘密や嘘が白日の下に曝されていく。役者陣の迫真の演技により、ドキュメンタリー映画のような質感があり、法廷映画としてもレベルの高い作品と言える。この妻役を演じたのはザンドラ・ヒュラーで、主演女優賞の最有力候補にもなっている。人気作家としての知的なポーカーフェイスの下で、底なしの冷酷さと自我を爆発させる圧巻の演技で、観客を一気に疑心暗鬼の渦へと引きずり込む。フランスででは 100 万人以上超えの大ヒットになっている。アカデミー賞作品賞等 7 部門の受賞をした「オッペンハイマー」を受賞前に見ることが出来ず、残念でした。



NPO イカス：東京都港区新橋 3-16-12 横山ビル 6F

[info@npo-icas.com](mailto:info@npo-icas.com) <http://www.npo-icas.com>

会費振込先：三菱 UFJ 銀行新宿中央支店、普通：5 3 1 3 5 5 0